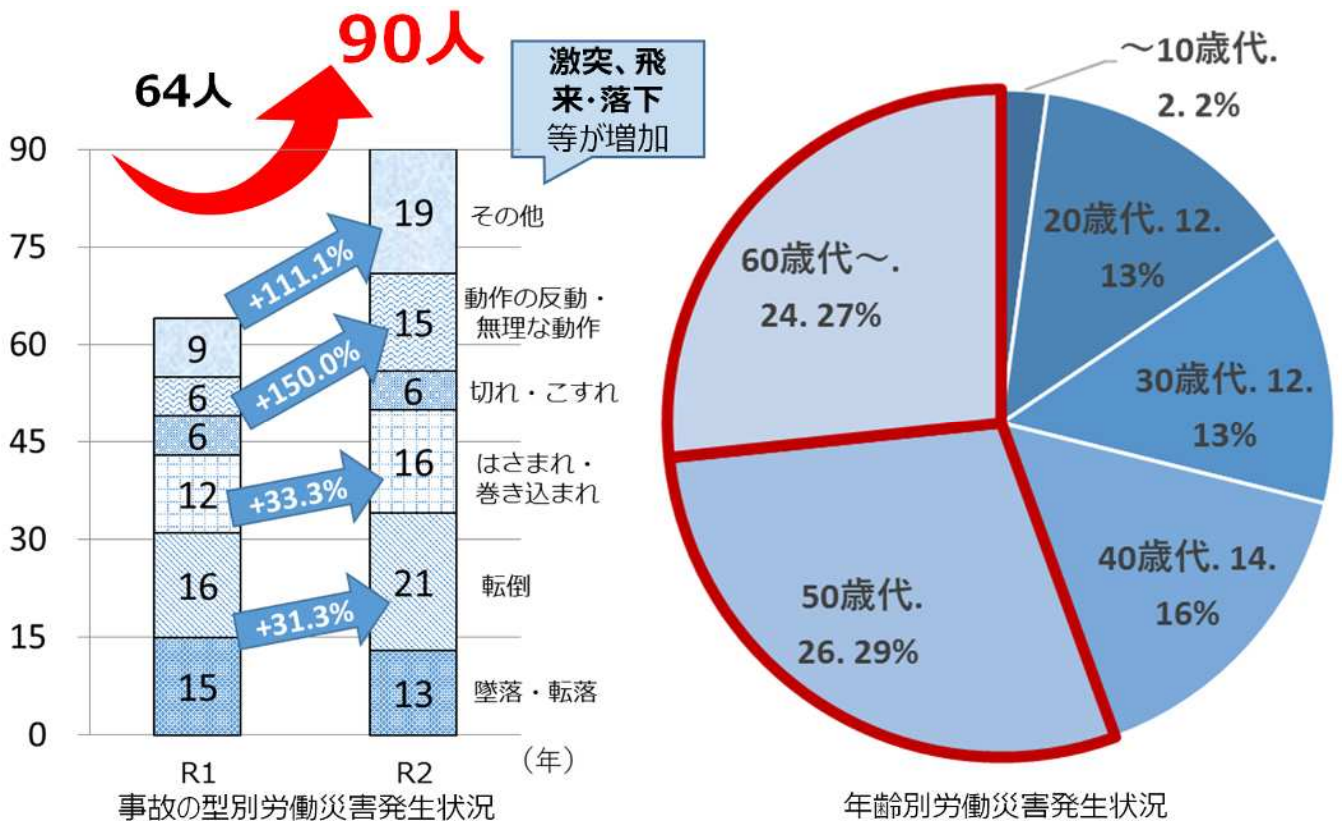


製造業における労働災害が増加！

福岡中央労働基準監督署管内における労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、8月末現在842人（前年同月比5.1%増加）です。

特に製造業においては90人（前年同月比40.6%増加）と、他業種と比べ大幅に増加しており、**極めて憂慮すべき状況**です。



- 「**転倒(1.3倍)**」, 「**はさまれ・巻き込まれ(1.3倍)**」, 「**動作の反動・無理な動作(2.5倍)**」等が**増加**
- 年齢別では、**50歳以上の高年齢労働者の災害は製造業全体の50%以上!**

労働災害発生状況

運搬用台車でパール缶の載せ替えを行っていたところ、持ち上げの瞬間、**腰に激痛**が走り横たわった（電気機械器具製造業、40代男性）

物流センター内でバケツに水を汲み、運んでいたところ、**搬入ネットにつまずき転倒**した。（その他製造業、60代男性）

倉庫上部の補修作業を行うため、フォークリフトのパレットに乗って作業（ ）をしていたところ**倉庫の壁とフォークリフトに挟まれて死亡**（機械器具製造業、70代男性）



フォークリフトのパレットに人を載せることは用途外使用に該当し、**法令違反**となることのある行為です。

災害防止チェック項目

転倒対策



通路、階段出入口に物はないか
床の水たまりや氷、油はないか
十分な明るさ（照度）はあるか
作業靴の耐滑性やサイズは合うか
転倒予防体操やリスク評価チェック票を活用しているか

腰痛対策

体重に合わせた1人当たりの重量制限を知っているか
重量物の重量は表示されているか
腰痛予防健康診断を行っているか
重心を低くするような姿勢をとっているか

はさまれ・巻き込まれ

機械の点検・掃除等は機械の停止を確認して行っているか
作業服・保護具は正しく着用しているか
決められた作業標準に基づいて作業をしているか

STOP!
転倒災害
プロジェクト



その他

労働災害を予防するための安全衛生教育を行っているか
エイジフレンドリーガイドラインの活用（高齢労働者関連）
エイジフレンドリーとは、「高齢者の特性を考慮した」を意味する言葉
・身体機能の低下を補う設備・装置の導入
・事業者、労働者双方で体力の状況を把握 ほか

職場における
腰痛予防
対策指針



エイジフレンドリーガイドライン等



参考資料、Webサイト

教材・事例

職場のあんぜんサイト（リーフレット、動画、災害事例等安全衛生の総合情報）
転倒・腰痛防止用視聴覚教材



健脚ぐるぐる体操



あんぜんプロジェクト

各事業場での取組を参照できます。プロジェクトメンバーも募集中！



講習会・セミナー（予約必須）

働く高齢者のための安全衛生管理セミナー（福岡会場12/3（木））
腰痛予防対策講習会（福岡会場10/28（水）） 保健衛生業 運送業



その他

新型コロナウイルスに関するQ&A（企業の方向け）
○働く方・経営者への支援などのリーフレット一覧



（新型コロナウイルス感染症）



福岡中央労働基準監督署 安全衛生課

福岡県福岡市中央区長浜2-1-1

電話：092-761-5608 FAX：092-761-5616